



# ぐらぶあ

Vol.86

2011年 7月号

ふみだそう、福祉でまちづくり



## 朝顔の日かげは涼しいね



平成22年度「緑のカーテン大作戦」金沢小学校の入賞作品



「緑のカーテン大作戦inちの」は「温故知新」まさに先人の智慧。私の子ども頃、農家では庭先から屋根に棒をかけ棚を造り、カボチャ、夕顔、ヘチマなどを植えたり、一年を通じてぶどう棚を作った家もあった。家の造りも南側の部屋と北側の部屋の襖や障子を開け広げると、風通しが良くなり涼風が吹きぬける。夏は涼しく秋は収穫と「二石一鳥」。

「げんこつ」と耳慣れない言葉が目についた。茅野市地球温暖化対策地域協議会のエコレポートNo.4の紙面に掲載。

### 減CO<sub>2</sub>(げんこつ)

今までの大量生産・大量消費・大量廃棄型社会を反省(げんこつ)と、全員でこぶし(げんこつ)を握りしめ、一致団結してガンバロウという意識を持って、地球温暖化の原因である二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を減らすことに取り組んでいこうという願いがあるとのこと。

これもまた「温故知新」。昔の人は食べ物は残さない、物が壊れたら修繕、衣服が破れたら継ぎをあてる。まさに工口(こうぐち)の生活そのものであった。

# みんなの支援の積み重ね

～災害ボランティア活動を通して感じたこと～

東日本大震災では、あまりの被害の大きさに未だにガレキや住宅周辺の片づけができない状態が続いています。

茅野市社協では、4月に続き5月31～6月3日まで、ボランティアと社協職員合わせて22人が石巻市で災害ボランティアとして活動してきました。参加者は、2つのグループに分かれ、ひとつは1軒の家の床下の泥出し、もうひとつのグループは住宅周辺の瓦礫撤去と泥出しを行いました。

そこで「やらざあ」では、被災地から戻られた3人の方に被災地の様子や活動を通じての感想をお聞きしました。

## 参加のきっかけは？



### \*矢崎さん(42歳 男性)

今回で3回目。初めは「なんとなく…」だったけど、現地へ行って「少しでも役に立てれば…」と思った。災害ボランティアは、「行って来ました」の報告だけではいけないと思う。まだまだ人手は必要だと思うし、人手が増えるまで続けなければ…と思った。



### \*池田さん(63歳 女性)

最初、自分がボランティアとして被災地に行くことになるとは思っていなかった。娘が直後に行って来て、5人がかりで1軒の家の台所をきれいにするのがやっとだった話を聞き、自分でも役に立つのではないかと思った。

### \*加藤さん(61歳 男性)

テレビで惨状を見た時に、経済的支援だけでなく人的支援が必要と思い参加した。国がやる事は限られているからボランティアの良さを活かしたかった。自分が行くことで後に続く人が出てくればいいと思った。年をとってもできることはあるからね。

## 行ってみてどうでした？



実際行って見て、私たちの活動は単に「手伝う」だけでなく、被災地の方の自らの復興を後押しするように思った。塩害を受けている家庭菜園の手入れを続けている被災者に「あきらめない」強い気持ちを感じた。どうしても長いスパンでの支援が必要になることだから、支援の機運が風化していくことが怖いと思った。

地元の人たちは、ボランティアに対して誰にでも「ありがとう」「ご苦労さま」と声をかけてくれて励みになった。(加藤さん)

ボランティアをやる側にも、活動に参加した充実感が精神的にもプラスになっていると思う。反面「これしかできなかった」という思いも残ったりしたけど、自分の場合それが次の活動につながった。

活動を通して、自分たちがやってきた作業は確かに必要だけど、とにかく、被災地に人が集まって「みんないるんだ」って伝えること、被災地に暮らす人たちが「孤立」を感じないようにすることが大切だと思う。(矢崎さん)

今回は、20代前半～60代の年齢差があっても隔たり無く、目的に向かってひとつのチームのような活動ができたと思う。若い人たちとも連携が取れて、被災者のために活動を通してつながることができたことに感動した。

また、作業に入ったお宅の人は、当時の状況を話したくて聞いてくれる人を欲しがっているという感じだった。話を聞くこと、コミュニケーションをとることも復興の力になるものだった。(池田さん)

## 茅野市で活かせることは？



- 阪神の被災者が震災で得たノウハウを石巻で活かしている姿を見て、自分達がボランティア活動することで「茅野市でも活かせるのではないか…」という持ち回りの気持ちを感じた。できるだけ多くの方が災害ボランティアを体験すればいいと思う。
- あの状況になれば絶対に助け合うとは思うけど、普段の生活から「人とのつながり」を大切に、市内で取り組まれている「共助」の活動を推し進めていけばいいのではないか。
- 自分の地区を振り返ってみると、昔とちがって地区の中にもいろんな役があるけど「役の仕事」じゃなく「人の思い」でいろんなことができればいいんじゃない？昔は、近所で何かあると「役」でなくてもおばちゃんたちが集まって炊き出しをやったりしたよね。そんなつながりが必要だと思う。

## 取材を終えて

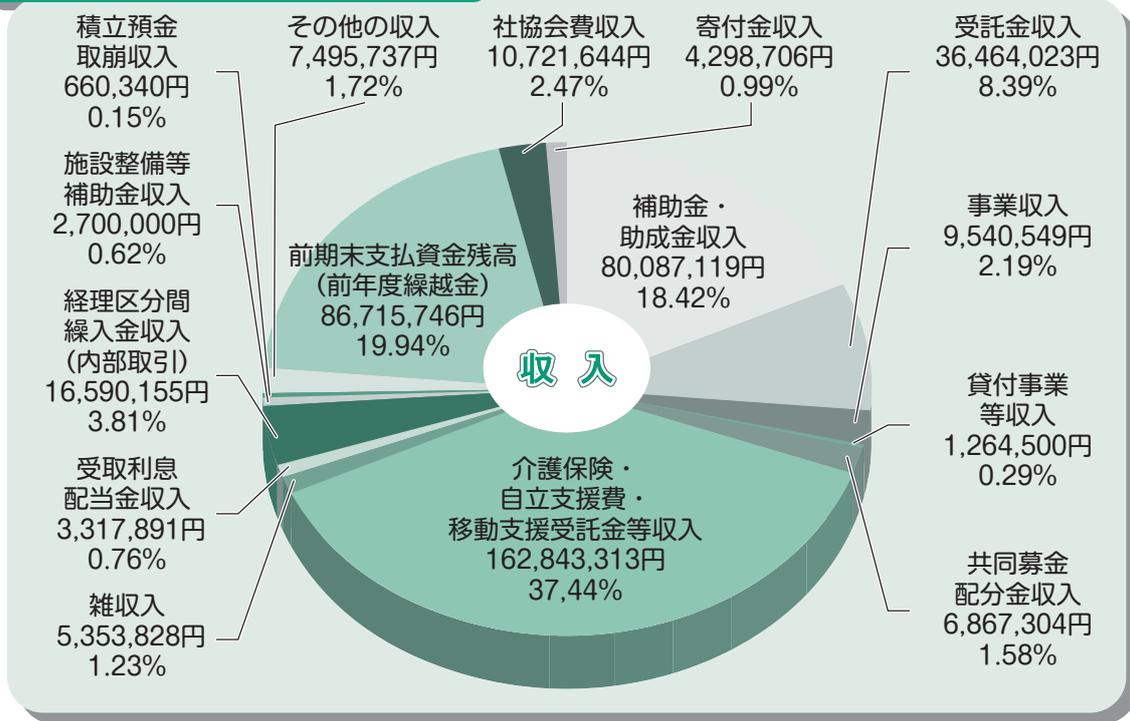
3人の方が顔を合わせた瞬間「やあ！」と旧知の人に会われたような雰囲気です。「大変だった」「疲れた」との言葉は無く、生き生きと充実感を漂わせていました。ヘドロにまみれて、また床下でのきつい作業であったということでしたが、力を合わせ成し遂げたという達成感でしょうか、生氣にあふれ眩しく見えました。



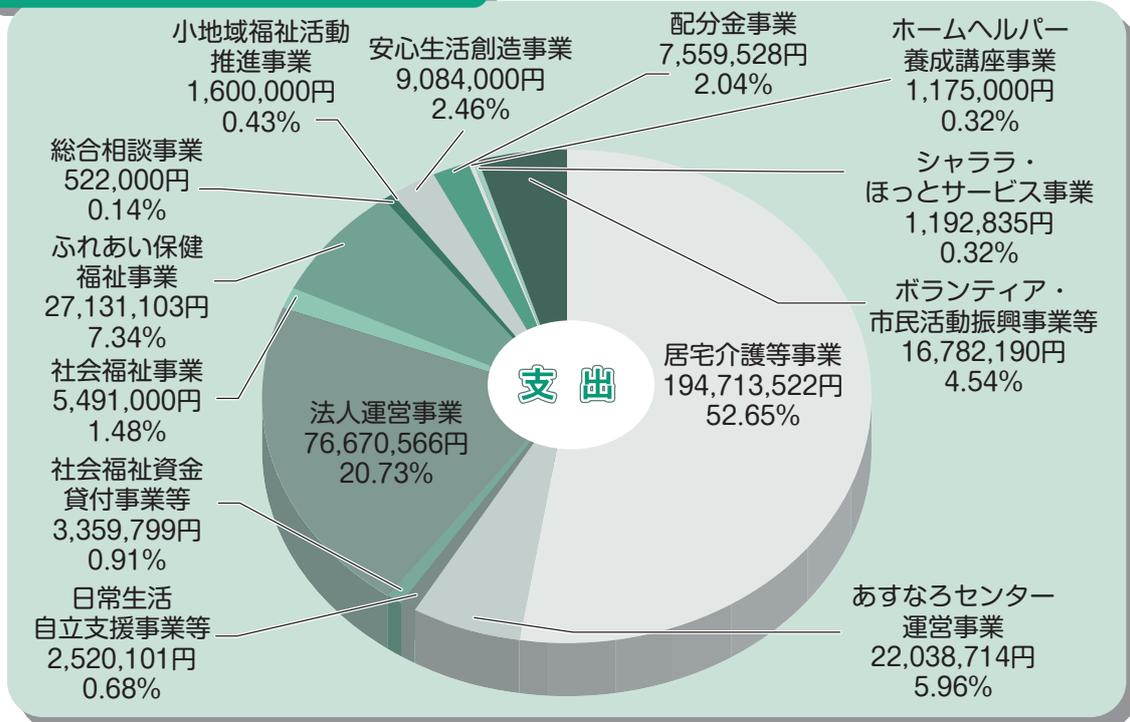
茅野市社協では7/12～7/15まで、災害ボランティア派遣の第3弾を実施します。今後もボランティア派遣を継続していく予定ですので、市民のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。災害ボランティアの登録を希望される方は、社協事務局(73-4431)までご連絡ください。

# H22年度茅野市社会福祉協議会 決算報告

収入合計 434,920,855円



支出合計 369,840,358円



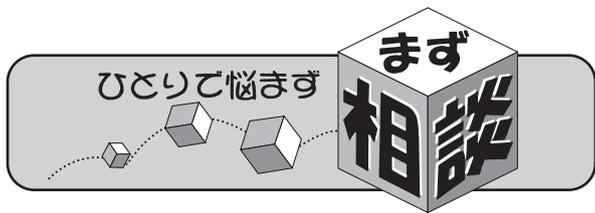
H22年度、茅野市社会福祉協議会では、「やらぞあ」などで様々な情報をお伝えしながら、市民一人ひとりを大切に総合的な地域福祉の推進に取り組みました。

事業の内容につきましては、スペースの関係上ホームページをご覧ください。

茅野市社会福祉協議会

検索

7月は社協会費の納入月間です。よろしくお願いします。



人生には様々な悩みがあります。だれにも相談できない、どこに相談したらよいかわからない。そんなときは、まず社協にお電話ください。

### 心配ごと相談

どんなことでもご相談ください

毎週金曜日 午前9時～正午

相談員：心配ごと相談員

心の悩み相談には、事前の予約が必要です。

(カウンセラー、精神保健福祉士が対応)

### 結婚相談

結婚を望まれる方の相談窓口

毎月第1・3土曜日(※8月6日(土)はお休みです)

午後1時～午後4時

第2・4金曜日

午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

### 司法書士の法律相談(予約制)

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士 予約電話/73-4431

### あなたと家族の悩み相談 ～家族のサポートライン～

ご家族を亡くされた方、病気に直面されている方  
ご相談ください

毎月第1・3月曜日 午後2時～午後4時

相談員：ボランティア

直通電話/82-0400

### 福祉やボランティアについての相談

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分

電話/73-4431 FAX/73-8030

相談は、総合福祉センター3階の相談室  
または1階の社協事務所までお越しください

社協情報紙 **やらざあ** Vol.86  
2011年 7月号

2011年7月1日

発行/社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集/やらざあ編集委員会

〒391-0002 茅野市塚原2-5-45

TEL (0266)73-4431

FAX (0266)73-8030

URL: <http://sharara.or.jp>

E-mail: [support@sharara.or.jp](mailto:support@sharara.or.jp)

社協情報紙 **やらざあ** の発行にはみなさんの会費が使われています。

## 読者の声

### <1月号を読んで>

・県外出身の主人、「おつくべ」を知らないとのこと…。そういえば最近つかっていない言葉だなあと思いました(私はここが地元です)。また方言にふれたいです。ちょっとしたコーナーがいいですね。  
ちの 30代 女性

・若い頃2年ほど東京にいました。仕事ですごく疲れた時「あ～ごしたい!!」と言ったら、都会の先輩が「若いのに囲碁やるの?」「???」と私。すると「だっていま暮したいって言ったでしょ」と言われ、方言なんだと初めて知ったときはびっくり!!今でもその状況が目につかびます。  
玉川 60代 女性

・クイズ方言わかるかな?で祖父・祖母が使っている言葉だったなとなつかしく楽しめました。3歳の娘が「やらざあかるた」を切り抜いてならべてあそんでいました。ぬり絵もしました。もしもの時は「シャララ」のサービスがあると思うだけでなんだか気が楽です。現在、3歳、0歳の子供の育児をしています。もしもの時はよろしくお祈りしますー!!  
玉川 30代 女性

・昔なつかしい言葉ですね。今はえらい使われていないけれど、我々年寄りにはたまに出ることがあります。何々をするにもずくがなくととか、とびくらす等々言っはあわてて口をふさぐこと等あります。  
ちの 80代 女性

### <3月号を読んで>

・赤い羽根募金、けっこうあつまったんですね。これからも世界中の国々の人へ少しでも生活ができるように積極的に参加したいです。  
米沢 13歳 女性

・社協の活動には積極的に参加はできませんが、会員の方でもお役に立てればと思っております。妻のボランティアの理解者で、後押しするくらいです。金田和尚の「つぶやき」半田裕さんの生き方、考え方、学ぶ点大いにあり。「自分が変われば、地域が変わる」「自分が地域のために足りない部分を補う」これを地域に実践できるようにしたい!!自分もしたい!!  
ちの 71歳 男性

## 茅野矯正展のご案内

確かな技術と安価が魅力

矯正展とは、刑務所に収容されている受刑者の円滑な社会復帰に向けた様々な取り組みを国民に紹介し、刑務所で製作された製品の展示即売を通じて刑事司法に対する、ご理解とご協力を得るために開催します。是非、この機会にご来場ください。

日時 7月9日(土)～10日(日) 10:00～16:00

会場 茅野駅前公会堂

主催 松本少年刑務所

後援 (財)矯正協会刑務作業協力事業部

茅野・南諏支部保護司会

茅野・南諏更生保護女性会

今月は **クイズ** 日にち調べ



2015年の「海の日」は7月何日でしょう。

### 応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢(年代)、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあのご感想、つぶやきなど一言添えて社協までお送り下さい。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

### 応募締め切り

7月末日

